

医療安全全国フォーラム

(平成25年11月22日)

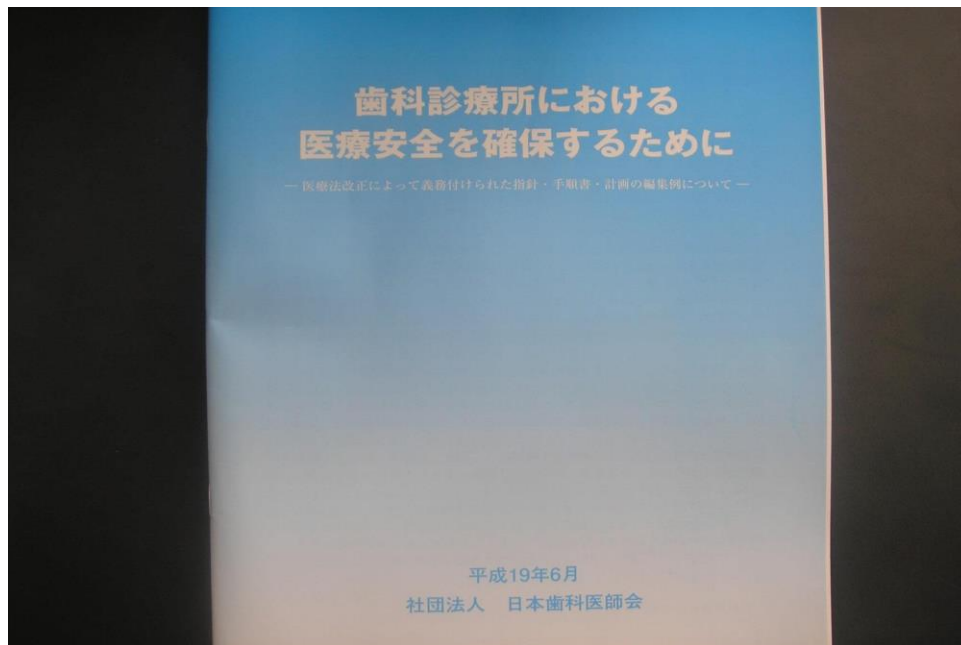
日本歯科医師会 歯科医療安全対策委員会の取り組み

日本歯科医師会 歯科医療安全対策委員会

委員長 溝渕健一

平成19年4月改正医療法施行時における 日本歯科医師会での取組み

医療の安全に関する事項として
医療安全管理体制の充実・強化
院内感染防止体制の充実
医薬品・医療機器の安全管理体制の確保
などが重要な項目



平成 22 年 8 月

一般歯科診療

ガイドラインによる 院内感染対策 Q&A

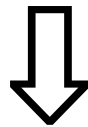
日本歯科医師会

Q1 歯科診療における院内感染対策とは？

A1 『院内感染』とは、入院患者を中心とした病院内の感染に限ったものではなく、歯科医療行為の結果として、診療室内で起こる感染である。汚染器具の使用による患者への感染の対策ばかりでなく、医療担当者の診療用器具の誤刺による曝露事故防止も対策の一面である。

歯科用インプラント問題

国民からの相談や苦情が国民生活センターに多く寄せられてると発表があり、マスコミ（NHKや週刊誌等）で大きく取り上げられた

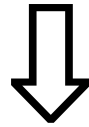


日本歯科医師会としての対応

- インプラント学会を中心にガイドラインの作製
 - 国民に向けてのシンポジウムを開催
 - 日本歯科医師会での役員による電話相談の対応
- ※現在は原則、都道府県歯科医師会でご対応頂くこととしている。

歯科医療安全ネットワーク事業

- 平成18年度から開始
- 全国の**訴訟事例**を収集してその原因を分析し会員に還元していこうという主旨の事業
- しかし、死亡事例もしくは重大な後遺症の事例が歯科では少なく、報告が少ない



ヒヤリハット収集事業に変更

- 平成26年度から実施予定
- 収集後、事故を未然に防ぐための資料を取りまとめ、重大な事例は会員に**注意喚起**するが、報告方法等は検討中

冊子「医事紛争を起こさないために」

医事紛争を起こさないために
(第2版)

平成25年5月

公益社団法人 日本歯科医師会
歯科医療安全対策委員会

- 医療に対する患者のニーズは多様化し、また期待は大きくなっている
- 普段からの心構え、インフォームド・コンセントを尽くして、患者さんとの間に意思疎通を図り、信頼関係を構築することなど、あらかじめ心得ておくべき留意点や、具体的な対応策を歯科医療安全対策委員会において検討
- 平成25年3月に冊子として取りまとめ、都道府県歯科医師会に送付するとともに全会員に配付

医療安全研修会

○平成25年4月13日に開催

○歯科医療安全対策委員会が運営をサポート

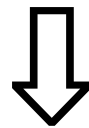
○各都道府県歯科医師会の医療苦情や医事紛争等への取り組みについて発表していただいた

○この発表を踏まえ、今後の医療事故削減や診療所の医療安全に繋げていく方策について情報を共有し、都道府県歯科医師会、各会員の行動指針の一助とした

○今後は、2年に1回は開催したい。次回は平成26年度の開催を考えている

医療連携

- 救急の事態に備えた病診連携や診診連携の構築
- 高齢者の急増による訪問診療の増加、ならびに訪問診療時（診療所外）の医療安全上、注意すべきポイントやその強化



共同行動の必要性